

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部	区民部	課	区民課
---	-----	---	-----

施設名称	[1] 東京都台東区立浅草公会堂
------	------------------

指定管理者の名称	明治座・野村ビルマネグループ	指定期間	H21. 4. 1 ~ H26. 3. 31
----------	----------------	------	------------------------

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	(株) 明治座：①演劇興行②飲料事業③不動産管理事業 野村ビルマネジメント(株)：①ビルマネジメント事業②建築インテリア事業③プロパティマネジメント事業④公施設事業⑤不動産取引事業
(2) 類似施設の管理実績	(株) 明治座：明治座ほか 野村ビルマネジメント(株)：中野区文化施設3館、国分寺市立いずみホールほか
(3) 経営状況	21年度決算 (株) 明治座：総収入7,358,460千円、総支出6,752,572千円 野村ビルマネジメント(株)：総収入36,663,242千円、総支出30,149,445千円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区浅草1-38-6
(2) 設置目的	区民の福祉を増進し、文化の向上を図る
(3) 利用者	区民をはじめとした多くの方々
(4) 開館日・時間	臨時休館日を除く全日 9時から21時
(5) 規模	延床面積 12,185.63㎡ SRC造 一部RC造 地上5階地下2階 塔屋2階 ホール(1,082席)、第1・第2・第3集会室(各105.8㎡)、展示ホール(173㎡)
(6) 人員体制	常勤17名、その他(パート) 11名

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	(1) 公会堂の施設、付帯設備及び物品の保全並びに調整に関すること (2) 公会堂の場内整理に関すること (3) 公会堂内の清潔、整頓その他環境の整備に関すること
(2) 自主事業	明治座アカデミー卒業公演(5月実施)「ライブ RUTUBO」(7月実施)、殺陣演技ワークショップ(3月実施)

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	169,796,000	164,836,000	182,537,000	183,851,000	99,000,000
	料金収入等	0	0	0	0	127,400,000
	管理経費	169,796,000	164,836,000	182,537,000	183,851,000	228,900,000
決算	委託料	156,106,906	141,941,306	171,113,699	167,528,377	99,000,000
	料金収入等	0	0	0	0	136,336,635
	管理経費	156,106,906	141,941,306	171,113,699	167,528,377	231,568,794
	収支	0	0	0	0	3,767,841

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	—	—	—	361.0
ホール利用日数	日	—	—	—	283.0
ホール利用可能日数	日	—	—	—	319.0

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
ホール利用率(利用日数/利用可能日数)	%	90.0	78.4	87.4	88.7
集会室利用率(利用単位/利用可能単位)	%	45.0	41.6	46.1	42.6

※平成20年度以前は他の指定管理者による管理運営

7. 前年度からの取組

地元・地域への密着を図り、親しみやすい公会堂のイメージの構築に努めた。
 利用者の利便性・快適性を損なわない範囲で省エネチューニングを引き続き継続した。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.1]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[3]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未達）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	保守点検や、修繕などを同日に行うなど日程を調整し、全館臨時休館日を極力減らして運営に取り組んでいる。
(2) 施設の維持管理	A	備品及び物品の管理については、適切になされているとともに、照明器具のLED化など省エネ対策にも取り組んでいる。 修繕については、その都度連絡があり、軽微な修繕は、協定に則し指定管理料の範囲内にて対応している。
(3) 利用者の満足度	A	昨年度と変わらぬ利用率を保っており、利用者から「休館日が減り、利用しやすくなった」「集会室等備品がきれいになった」また「1階が女性警備員になり、入りやすい雰囲気になった」と評価を得ている。
(4) 歳入歳出	A	照明器具のLED化や、節電、節水等で光熱水費を大幅に減らし、支出の抑制に努めている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	事業運営、維持管理とも業務基準に基づき適切に運営されており、利用率も高い水準を維持している。
-----------	--

11. 評価結果への対応

施設管理の面では、特に問題は見当たらないが、自主事業に関しては、集会室の空き日を活用し、地域の活性化に努めるなど、民間事業者の視点から新たな発想で更なるサービス向上を図りたい。